

植樹式 2009



時の蘇生・柿の木プロジェクト

目次

2020年更新

3月12日		牛久市立牛久第三中学校 日本・茨城県・牛久市	1
3月13日		アントニオ・カンピ中学校 イタリア・クレモナ県・クレモナ市	2
3月20日		タデウシュ・レイタン高校 ポーランド・ワルシャワ	3
3月21日		レストラン「カステッロ・マルヴェッツィ」 イタリア・ブレシア県・ブレシア市	4
3月21日		セント・ロッコ教会の隣にある植物園 イタリア・ブレシア県・グッサーゴ市	5
3月21日		セラティカ市内小学校 イタリア・ブレシア県・セラティカ市	6
3月24日		モンファルコーネ・ロータリークラブ イタリア・ゴリツィア県・グラド市	7
3月		チルドレンズ・ガーデン フランス・ボルドー	8

牛久市立牛久第三中学校

🇯🇵 日本



茨城県・牛久市



2009年3月12日

牛久第三中学校の植樹は、隣の市である取手市立第二中学校の植樹でこのプロジェクトを知った牛久市市議会議員さんが、市の教育委員会に紹介していただき、実現にいたりました。牛久市では、市内の中学校から生徒代表を平和使節団として広島へ派遣。戦争や原爆について、学習してきて、その報告会を「校内平和の集い」として発表させるという活動を毎年続けています。

2008年11月21日に開催された「校内平和の集い」に、柿の木プロジェクトの代表、宮島達男が招待され、広島へ行った生徒のとても素晴らしい学習報告を聞かせてもらいました。その報



告会の中で、柿の木プロジェクトのDVD鑑賞、宮島からのプロジェクトの説明を聞き、事前に柿の木プロジェクトに対する理解を深めた上で、正式に植樹申し込書をおくってくれました。

2009年3月12日の植樹式は、担当の福田先生を中心に生徒たちも一緒に準備を進めてくれました。当日は、長崎から海老沼先生も参加くださいました。前日に卒業式があり、3年生はいなかったのですが、1年生、2年生の生徒たちと一緒に、平和に関する〇×クイズを行いました。かなり



難しい問題も多かったのですが、全問正解者は数名いました。その後、海老沼先生の話、宮島の挨拶と続き、2本の「被爆二世の柿の木」が校庭に植樹されました。その苗木を囲んで行われた「ふるさと」の合唱は、生徒たちの歌声、ハーモニーが素晴らしく、参加した人々の心に強く響きました。最後にみんなで記念撮影を行いました。4月下旬には、福田先生より、2本のうちの1本の柿の木に芽がついたと嬉しい報告もいただきました。

2020年は東京オリンピックイヤーとなる予定で、2020年に植樹を予定していたオリンピック発祥の地ギリシャのマルーシ中学校より、牛久市立牛久第三中学校に、在日ギリシャ大使館を通して、柿の木プロジェクトを通しての交流の話がありました。日本からは和太鼓の演奏の映像などをギリシャの植樹にあわせて送っていただきましたが、残念ながら、2020年のコロナウィルス感染拡大により、植樹式直前にマルーシ中学校での植樹は延期になってしまいました。オリンピックも延期になり、今後オリンピックの開催にあわせ、2つの中学校の交流が実現することを期待しています。

アントニオ・カンピ中学校



イタリア



クレモナ県・クレモナ市



2009年3月13日



タデウシュ・レイタン高校

 ポーランド

 ワルシャワ

 2009年3月20日

柿の木プロジェクト実行委員の小川芳範さんから柿の木プロジェクトの話聞いたポーランドの学校の先生が、植樹の申し込をしてくれました。この年は、日本とポーランドの友好90周年でもあるそうです。当初は、ワルシャワの小学校での植樹が予定されていましたが、実際に植樹は、ワルシャワのタデウシュ・レイタン高校で行われました。

レストラン「カステッロ・マルヴェッツィ」



イタリア



ブレシア県・ブレシア市



2009年3月21日

レストラン「カステッロ・マルヴェッツィ」は、ブレシアの郊外にあるとても有名なレストランです。マネージャーのエンリカ・ボルトラツィさんは、2008年ブレシアの柿の木プロジェクトの植樹式に参加し、このプロジェクトが平和を伝え、人々や若い世代をつなげていくのにとっても有意義なものであることを実感しました。そして、子ども達の「平和のシンボル」となることを期待して、自ら応募し、2009年3月21日の植樹が実現しました。

小学校の子ども達の自然学習の場にもなっています。人の出入が多いこの場所は、様々な世代の人々に柿の木を知ってもらうために絶好の場所でしょう。今回の植樹には、イタリアでの柿の木プロジェクトを毎年推進して下さっている、日伊文化協会のマニセラさん夫妻が参加してくださいました。子ども達の参加は10人程度でしたが、彼らは庭の大きなテーブルで、ドローイングやメッセージを書き、全員が柿の木に土をかけ、成長を祈りました。

植樹は、レストランの庭の中央で行われました。この庭には、動物たちがたくさんいて、近くの

2009年6月には、柿の木を囲んで、コンサートやその他のイベントが企画されています。



セント・ロッコ教会の隣にある植物園

🇮🇹 イタリア



ブレシア県・グッサーゴ市



2009年3月21日



イタリア、グッサーゴ市のヴェントウレツリ市長は、2008年11月に広島-長崎を支援する市民アピールの計画書にもサインをし、2007年9月～2008年3月の間、グッサーゴ市は、イタリアで6万人以上の署名を集めた「核兵器の無い未来」キャンペーンをサポートしてきました。また、市長は、グッサーゴ市「平和・連帯会議」議長もつとめています。「平和・連帯会議」は、地方行政の立場で、人々が過去の過ちをくり返さないように、人々の心の中に、善悪の概念を平和文化によって深く根付かせる活動をしている機関です。そんな想いから、グッサーゴ市の人々は、柿の木が平和と希望のシンボルとなることを願い、2009年3月21日に「被爆柿の木二世」を、市内のセント・ロッコ教会に隣接する植物園に植樹しました。

セント・ロッコ教会は、町の中心に位置する小高い丘の上にあります。人々は、平和と穏やかな風景を楽しみながら歩いてすぐに教会に行くことができ、また、丘から見る景色は、素晴らしいものです。今回、残念ながら日本から海老沼先生、実行委員のメンバーは植樹式に参加できなかったのですが、昨年イタリアへ到着した柿の木5本をこの1年間大切に保管し世話して下さった田中昭三さんと日伊文化協会のマニ

セラさん夫妻が、植樹式に参加してくださいました。セント・ロッコ教会の前に約50名以上の小学生・中学生そして父母たちが柿の木の元に集まってくれました。マニセラさんからイタリア語で海老沼先生のメッセージが紹介された後、マニセラ夫人からは日本語でもメッセージが紹介されました。ヴェントウレツリ市長の挨拶の後、こども達は柿の木ふろしきを大きな棒につけて旗のようにして高く掲げ、参加者全員がその旗に続き、植樹場所まで歩いて移動しました。植樹では、メッセージを入れた小さなカプセルと一緒に埋めました。こども達全員が両手一杯の土を柿の木へかけ、大人たちも土をかけました。植樹後、田中さんから柿の木の育て方について説明し、いくつかの質問に答えました。

植樹に先がけ、グッサーゴ市では、フィルムの上映会を行い、核の武装解除についての勉強会も開かれました。また、2009年3月14日～21日には「広島」という展覧会も開催しました。一方 政府は、2010年の核物質を増殖させない協定の検討会議の準備を進めています。今後、教会の管理人さんが、こども達のために柿の木の成長を手助けするボランティアグループと一緒に世話いただくことになりました。

セラティカ市内小学校



イタリア



ブレシア県・セラティカ市



2009年3月21日



モンファルコーネ・ロータリークラブ



イタリア



ゴリツィア県・グラド市



2009年3月24日



チルドレンズ・ガーデン

 フランス
 ボルドー
 2009年3月

